Ι. 目 次

総説 董其昌から清朝盛世 飛田優樹

3

■本図録は黒川古文化研究所における第一三二回展観「文雅の典範―清朝盛世の書画

―」(二〇二四年十月十二日~十一月二四日)の開催に伴い編集・発行した。作品ご

とに部分図と解説、関連文献、釈文を掲載し、

研究の手引書となるよう配慮した。

関連する作品を掲

載した。所蔵館は和泉市久保惣記念美術館・京都国立博物館・京都市立芸術大学芸

術資料館・個人・澄懐堂美術館・文化庁・黒川古文化研究所である。掲載順は概ね

図録の体裁等の都合により必ずしも厳密にはなっていない。

ただし、

総説との内容の重複を避け、

作者

II

図版

第一章 第二章 都市を超えて 文雅の源流

第四章 第三章 正統派文人画 康熙宮廷

第五章 帖学派

III 資料集 董其昌と清人による古典書画家評

V.

釈文

VI

作品目録

IV

作品解説

158 153 142 134 105 87 17 59 41 17

の基本情報と作品自体の特筆すべき点を優先的に記載した。

■作品解説は研究員 飛田優樹が執筆した。 ■収録作品は明代末期から清代中期までの書跡・絵画を中心とし、

時代順だが、

■京都国立博物館および文化庁の収蔵品の図版は、 ■釈文は紙幅の都合上、 載箇所以外の付属品は研究上特に重要と思われるものに限定し、 箱書や印章等は省いた。 臨書などの本文が著名かつ膨大なものは省略した。また、掲 京都国立博物館からご提供いただ 書者の判明しない

|本図録の執筆・編集は飛田優樹、デザイン・画像加工は森島百合が担当した。 年表と資料集の入力は京都市立芸術大学大学院の高畑理乃に助力いただいた。 関

いた。それ以外は深井純氏の撮影による。タイトルの作字は研究員 飛田優樹がおこ

なった。

凡

例

2





VI 作品目録

16	15	14	13	12		11	10	9	8	7	6		5	4	3	2	1		番号
徐乾学(等)	陳奕禧	查昇	沈荃	姜宸英	第三章	査士標	祁豸佳	惲寿平	周荃	將讇	王時敏	第二章	洪瑩・端方	(伝) 董源	董其昌	(伝) 王維	王羲之	第一章	作家名
清人扇面法書冊	行書北征楽府	行書贈愈庵年翁	臨懷素自叙帖	臨二王書	康熙宮廷	一行書鮑防上巳寄孟中丞詩	草書湯顕祖津西晩望詩	天池石壁図	秋渓漁隠図	倣董源山水図	江山蕭寺図	都市を超えて	寒林重汀図跋	寒林重汀図	致馮開之尺牘	江山雪霽図	集王聖教序	文雅の源流	作品名
帖	一巻	一幅	一幅	一帖		一幅	一幅	一巻	一幅	一幅	一巻		一巻	一幅	一巻	一巻	帖		員数
康熙年間	康熙年間	康熙年間	康熙十六年(一六七七)	康熙三十一年(一六九二)		康熙年間	順治~康熙初	康熙二十三年(一六八四)	順治~康熙初	康熙三年(一六六四)	崇禎八年(一六三五)		清代後期	(伝) 五代	万曆年間	(伝)盛唐	咸亨三年(六七二)刻		時代
紙本・金箋墨書	編子地墨書	総本墨書	総本墨書	紙本墨書		絹本墨書	絹本墨書	紙本墨画淡彩	総本墨画	紙本墨画淡彩	紙本墨画		絹本墨書	絹本墨画淡彩	紙本墨書	絹本墨画淡彩	紙本墨拓		材質
黒川古文化研究所	黒川古文化研究所	和泉市久保惣記念美術館	黒川古文化研究所	京都国立博物館		澄懷堂美術館	澄懷堂美術館	個人蔵	京都市立芸術大学芸術資料館	黒川古文化研究所	文化庁		黒川古文化研究所	黒川古文化研究所	個人蔵	個人蔵	黒川古文化研究所		所蔵